

## 餌寄せは採食中にするもの

「餌寄せは採食中にするもの。お代わりも食べている最中に聞くもの」

放し飼いの牛舎での飼槽管理の一言。飼槽の餌寄せタイミングを表した名言である。よその家で食事をご馳走になる際、その奥さんがご飯の「お代わりは如何ですか」との一言を発するタイミングである。通常はお茶碗に少しご飯が残って、まだ食べている内にお代わりは如何ですかとか聞いてくるはずである。誰も「ご馳走様」を言ってからお代わりを聞く人はいない。これと同じ事を牛に対しても行わなければいけないが、この意識を持って飼槽管理をしなくてはならない。

乳牛は搾乳後に一番採食意欲が沸くようである。この時間帯をみはらって、飼槽に新鮮なTMRの給与を行い、より多くの飼料を採食させたい所である。しかし、強い牛はある程度採食すると別な採食場所に移動するようになる。これは、選び食いをして採食場所の配合類が少なくなったり、飼料が口の届く範囲から少なくなったりする事が考えられる。牛は選び食いをしようとして餌を鼻先で移動させる。このようにうまいものがない事を感じると、強い牛は別な場所に移動し採食を始める。この時に弱い牛ははじかれて、採食意欲をなくする。飼槽で牛同士の頭突きが行われている。もしくは威嚇のみで勝負が付いているかもしれない。

これらの闘争行動をなくするために、強い牛が採食中にお代わりは如何ですかと聞かなければいけない。勿論お代わりは常に強い牛に所望されるので、餌寄せを頻繁に行わなければいけない。採食場所を移動しないように、同じ場所で食べ続けるように、採食中にお代わりを聞かなければいけない。

餌寄せの一番良いタイミングは、採食途中で飼料が山になったり、前の方に出てきたりしている採食中に寄せるようにします。牛が採食場所を移動しないように餌寄せをします。

飼料が山になって、餌寄せのタイミングが遅れている



目の前の飼料が食べられない強いストレスを感じる飼槽